

**三菱ダクト用換気扇システム部材 別売グリル** 〔居間・事務所・店舗用〕

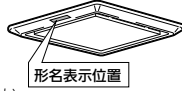
グリルタイプ	フルフラットインテリアタイプ	
形名	P-260GB <sub>3</sub> -Z	P-315GB <sub>3</sub> -Z

**据付説明書**

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。  
この説明書は別売グリル「フルフラットインテリアタイプ」とグリル別売機種を据付けるためのものです。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。
- 換気扇の運転には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホルタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。



**1. 安全のために必ず守ること**

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの		<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・家財などの物的損害に結びつくもの
--	-----------	-----------------------------------	--	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		浴室での使用禁止		感電注意		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	----------	--	------	--	-------

**警告**

	禁止	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。		感電注意	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
	水ぬれ禁止	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。		分解禁止	●交流 100V を使用する 直流や交流 100V 以外を使用すると感電の原因。
	分解禁止	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。		指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。

**注意**

	禁止	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けられない 火災の原因。		指示に従う	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	禁止	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。		指示に従う	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
	浴室での使用禁止	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けられない 本体・部品の落下によるけがの原因。		指示に従う	●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
	浴室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には据付けられない 感電・故障の原因。		指示に従う	●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

**2. 据付け前のお願い**

**注意**

- 台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けられない  
本体・部品の落下によるけがの原因。
- 中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けられない  
本体・部品の落下によるけがの原因。

**据付けにあたって**

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けしないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

**据付位置**

- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

**天井・ダクト工事**

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
  - 極端な曲げ
  - 多数の曲げ
  - ダクト接続口のすきまの曲げ
  - しぼり
- 製品脱着、ダクトテーピングやテーピングの取り外しには天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品ご替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

**3. 外形寸法図**

単位(mm)

■P-260GB<sub>3</sub>-Z、P-315GB<sub>3</sub>-Z

■寸法・適用機種

形名	寸法			グリル別売機種 本体形名
	A	B	C	
P-260GB <sub>3</sub> -Z	370	315	40	VD-15ZLXタイプ VD-15ZLXPタイプ
P-315GB <sub>3</sub> -Z	430	375	50	VD-18ZLXタイプ VD-20ZLXタイプ VD-20ZLXPタイプ

■付属部品

形名	天吊金具	グリルボックスへの本体取付ねじ (M4×10)	天吊金具取付ねじ (M4×8)
P-260GB <sub>3</sub> -Z	2個	9本	2本
P-315GB <sub>3</sub> -Z	4個	9本	4本

**製品据付時**

- VD-15ZLXタイプ、VD-15ZLXPタイプ
- VD-18ZLXタイプ、VD-20ZLXタイプ

■取り付け詳細

ダクト径  
φ100mm  
埋込寸法  
□32.5mm (取組高さ45mm以下)

■取り付け詳細

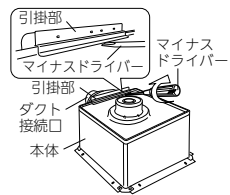
ダクト径  
φ150mm  
埋込寸法  
□38.5mm (取組高さ45mm以下)

**4. 据付方法**

**1 据付け前の準備**

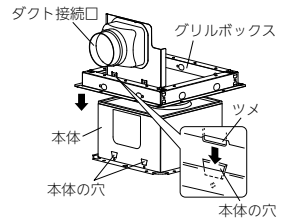
**ダクト接続口の取りはずし (VD-15タイプ)**

- 図のように本体と引掛部のすき間にマイナスドライバーを差し込み、回してダクト接続口をはずす。
- お願い**  
●ダクト接続口は無理に引き抜かないでください。



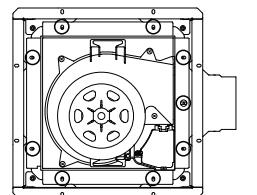
**グリルボックスの取付**

- (1) 出荷時はグリルとグリルボックスが一体になって梱包されているためグリルとグリルボックスを分ける。
- (2) 本体を平らな場所に置き、グリルボックスにダクト接続口を引っ掛けた状態で本体に差し込む。
- (3) 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまりこむように本体とダクト接続口を接続する。



**グリルボックスの固定**

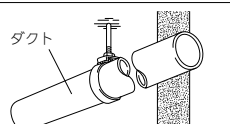
- 本体がダクト接続口と密着していることを確認してから、付属のグリルボックスへの本体取付ねじ9本で本体とグリルボックスをしっかりと固定する。
- お願い**  
●インパクトドライバーは使用しないでください。破損のおそれがあります。



**2 ダクト工事**

**壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。**

- ダクトはダクト接続口が力加わらないよう天井より吊る。(力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります)
- ダクトに結露が発生する場所においては、ダクトに断熱処理を施してください。(結露により天井材を汚損する原因となります)



## 4. 据付方法 つづき

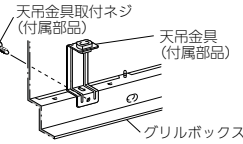
### 3 本体を吊る

右図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8またはM10）を埋め込む。

グリル別売機種 本体形名	VD-15 タイプ	VD-18・20 タイプ
寸法図		

### 2 天吊金具を据付ける。

●グリルボックスの穴部に天吊金具の穴1か所を合わせ、内側から天吊金具取付ネジで固定する。

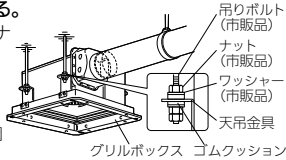


### 3 本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに据付ける。

●ナットがゆるまないよう市販品のワッシャー・ナットにて確実に固定する。

#### お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。（本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります）
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用やダブルナットなどにより緩み止めを施してください。

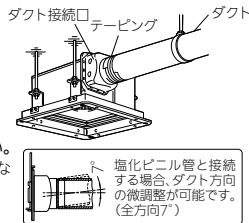


### ダクト接続口とダクトを接続する。

●風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

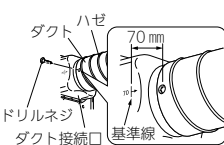
#### お願い

- ダクト接続口に無理な力が加わらないよう注意してください。（無理な力が加わるとシャッター開閉不良や風漏れの原因となります）



### ネジでダクトを接続する場合

- 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。
  - ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



ダクト呼び径 φ100の場合		
ダクト外径(mm)	100~105 (スパイラルダクト)	106~110
ネジ 呼び長さ	10	13
		16
ダクト呼び径 φ150の場合		
ダクト外径(mm)	150(スパイラルダクト)	155~160
ネジ 呼び長さ	10	13
		19

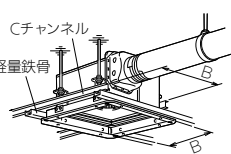
## 4 電気工事

換気扇本体の据付説明書に従い、結線してください。

### 5 軽量鉄骨を組む

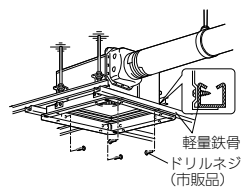
軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで内寸がB寸法になるよう据付枠を組む。

グリル別売機種 本体形名	単位(mm)	B寸法
VD-15 タイプ		325
VD-18・20 タイプ		385



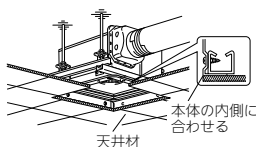
### 6 本体の固定（メンテナンスができるよう固定）

本体内部のリップ（4か所）を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。



### 7 天井材を張る

- 天井材を張る。
- 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。



#### お願い

- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないように固定してください。（すき間がありますと風漏れの原因となります）
- 天井材の厚さは20mm以下で据付けてください。（グリルが天井材に密着しない場合があります）

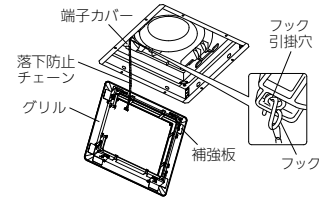
## 8 グリルの据付け

### 1 落下防止チェーンを据付ける。

●グリル裏側にある刻印の指示位置に従って落下防止チェーンのフックを本体の端子カバー近くの穴に引掛ける。

#### お願い

- グリルの4隅に取付けられている補強板は取りはずさないでください。

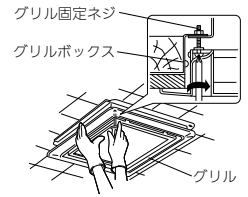


### 2 グリルを据付ける。

●グリルをグリルボックス内に押上げ、グリル固定ネジ（4本）で天井面に密着するように軽く締め付ける。

#### お願い

- グリル固定ネジを強く締めすぎると、グリルの変形・破損による落下のおそれがありますので、据付けの際にはご注意ください。



## グリルの調整

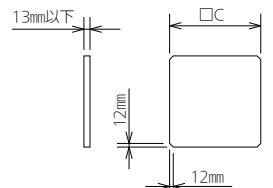
### パネルの変更

### 1 天井材を切断する。

右表を参考に天井材を切断する。

#### お願い

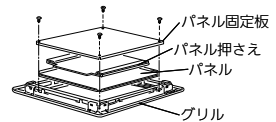
- 天井材は厚さ13mm以下のものを使用してください。
- 天井材は重たいもの・割れやすいものは避けてください。



形名	C寸法	天井材質
P-260GB>Z	248	0.6kg以下
P-315GB>Z	300	0.8kg以下

### 2 グリルを分解する。

●パネル固定板のネジ4本をはずして、パネル固定板、パネル押さえ、パネルの順に取りはずす。



### 3 グリルを組立てる。

天井材とパネルを入れ替え、天井材の厚みに応じてパネル押さえ端部の折返し部を切り取り、すき間のないように組立てる。  
●パネル固定板を取付ける際、パネル固定板とグリル裏側の刻印「端子カバー側」が同じ位置になるように取付ける。

## 5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチの、切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

#### お客様への説明

換気扇本体の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者（オーナー、ゼネコン）または管理者に説明してください。

## 6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない 強/弱どちらか動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない	ブレーカーを「入」にする 結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※換気扇本体の「据付説明書 電気工事」の電圧チェック表を確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない 羽根・グリルに異物が付着している 本体の固定（天吊金具・ネジ止め）が弱い 換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット） 換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管） 換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	正しく据付け直す 異物を取り除く 本体の固定を確認する ガラリ・アンダーカットを開けて給気する ダクトのつづれ、急な曲りを修正する 屋外フードのほこりを清掃する（特にリフォーム時）